

12町政企第31号
2012年4月10日

外務大臣 玄葉 光一郎
防衛大臣 田中 直紀
在日米海軍司令官 ジェームズ D. クロイド少将
米海軍厚木航空施設司令官 スティーブン・J・ウィーマン大佐 様

町田市長 石坂 丈一

米軍戦闘機の更なる安全確保について(緊急要請)

2012年4月6日(日本時間7日)、米海軍戦闘機FA18Dが米国内の市街地に墜落し、負傷者が出る事故が発生しました。同機種は2008年にも墜落し、犠牲者が出ています。

町田市においては、1964年4月5日に市内に米軍機が墜落し、死者4名・重軽傷者32名を出す大惨事が発生していることから、市民は今もなお航空機事故に対して強い不安を抱いています。

厚木航空施設には、今回事故を起こした機種は配備されていないものの、2010年1月及び3月、更には2011年2月、2012年2月にも第5空母航空団所属の航空機による部品落下等の事故が発生しております。

当市は、これまで事故が発生する都度、飛行の安全対策の確立や整備点検の徹底などを繰り返し要請してまいりましたが、今回の墜落事故が発生したことは、近年の部品落下事故と併せて、米軍機の安全管理等に対する不信感を市民に与えるものであり、極めて遺憾であります。

貴職におかれては、国内外を問わず、米軍機の事故が起きることのないよう、徹底した原因究明と、再発防止・安全確保のための万全の対策を講じることを米軍に申し入れる(※)よう強く要請します。

(※米あて文書には下線部を削除)